

Leader's TOPICS

電力自由化で「COOL CHOICE」しませんか

エネルギー部会 安藤紘史



日本人一人当たりの消費エネルギーは江戸時代の60倍を超えているとか。私達は、莫大なエネルギーを消費しながら、便利で快適な生活を手に入れている。一方、日本の温室効果ガスの9割近くがエネルギー起源の二酸化炭素であり、その4割が火力発電所から出ている。従って、「我が家の電力を何から作った電力にするか」は、地球温暖化に影響する。毎月多額の電気代を払っており、家庭の最大級のグリーン購入の問題でもある。

しかし、電力自由化の話題が下火に、しかも価格に矮小化されている気がするので、投稿させていただいた。

仲間に電力購入先について尋ねると「省エネしているので消費量が少なく、ほとんど安くならないので切り替えていない」の答えが多い。確かに、消費量の少ない場合は、どの電力会社も価格差がほとんど出ない。しかし、料金差が無いと言うことは、ほとんど持ち出しなしで、好みの電力に変更出来る事にもなる。余分な持ち出しなしで、育てたい会社や電源に毎月の電気代を通じて支援ができる・・・、ラッキーな話ではないでしょうか。
(消費電力量の多い人は、料金削減も含めて要検討)



どの様な電力(会社)を希望する人が多いか、地元で行った100名ほどのミニアンケート結果を紹介します(複数回答)。

- 電気代の安くなる会社 60%
- CO₂排出の少ない電気を買う会社 29%
- 再生可能エネルギー発電を増やす会社 23%
- 原子力発電の電気を含まない会社 21%
- 地域貢献に熱心な会社 8%
- 今まで付き合いのある会社 19%

これらの希望等(料金、電源構成、二酸化炭素の排出係数(一部表示))は、比較サイト(「エネチェンジ」等)で調べることができます。

また、二酸化炭素排出係数が低い場合でも、再生可能エネルギー構成が高い場合でも、環境破壊につながるケースも出ており、経営方針も含めて評価するサイト(「パワーシフト」等)もあります。

我が家での電力会社切り替え効果です。

(再生可能エネルギー重視の会社へ切り替えました)

- 電気代は従来と同じ(当然、電気代はその会社へ)
- 電力の二酸化炭素排出係数は30%下がる
⇒家全体の二酸化炭素排出量15%減少に相当。
- スマートメーターの時間別データーをチェック
⇒LEDシーリングライトへ取替の動機付けとなる。

●そこで、ひと言・・・、

この様に、電力購入先選定も有効な「COOL CHOICE」です。まだの方は如何ですか。